

テクノロジー・ショーケース2017開催結果報告書

H29.2.1 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催期日 平成29年1月31日(火) 9時30分～19時30分
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 542名
- 4 内容

(1)ポスター発表 133件 (一般 125件、つくば発注目研究 8件)

(2)企画展示 2件 (つくば市、茨城県)

(3)共催機関広報展示 (17機関)

(4)弁理士会関東支部による「発明無料相談コーナー」の設置

(5)特別講演

テーマ 「人工知能の創り出す未来」

講師 産業技術総合研究所人工知能研究センター長 辻井 潤一氏

・人工知能の流れを俯瞰しつつ、今後の人工知能研究の展望についてご講演をいただいた。

(6)ミニシンポジウム

「ソサエティ・イノベーションー技術・情報・知の統合ー」をテーマに、医療、農業自動車という異なる分野の研究者に、それぞれの機関において実施中の研究開発の内容を紹介していただき、関連技術の統合により築かれる未来の社会について議論していただいた。

「日本の医療に未来はあるか？発展？崩壊？」

筑波大学 医学医療系消化器外科・臓器移植外科教授 大河内 信弘氏

「ビッグデータを活用した次世代作物品種開発」

農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

テンサイ育種グループ グループ長 田口 和徳氏

「自動運転技術の動向について」

(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車研究部長 河合 英直氏

コーディネーター：産業技術総合研究所つくばセンター次長 角口 勝彦氏

(7)プレゼンテーション賞の表彰

発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、江崎会長から賞状が授与された。各賞の受賞者は別紙授賞者一覧表のとおり。

5 結果

- ・発表件数は昨年より13件多い133件で、特に大学生の発表が57件と昨年比20件増となった。分野別に見ると昨年と同様、物質材料、機械・エンジニアリング、環境、農業、生命科学など16分野と多岐にわたり、異分野交流を図ることが出来た。
- ・発表内容については、「ハイレベルな発表が多く、大変興味を持った」「このような大規模な異分野交流は大変意義深いものと思う」「大学生、高校生の中にもレベルの高いものが多かった」「若手の活躍が楽しみ」などの感想が寄せられた。
- ・特別講演、ミニシンポでも「講演のレベルが大変高い」「最近の動向や考え方、最先端の知見に触れることが出来て良かった」「AIと医療の連携可能性について知ることが出来た」などといった感想が寄せられました。